

日本の女性は どう生きてきた？



展示
期間

8/19(金)~9/7(水)

9時~21時(最終日は15時まで)

展示
場所

エセナおおた 1階展示コーナー



古代から平成までの女性の歴史を、イラストを使ってわかりやすく解説したパネル展です。特に近代からの女性たちの動きが詳細に描かれています。自由と平等を求めて、日本の女性たちは社会を動かしてきました。成果を勝ち取る前には、苦難の時代を越えてきました。戦後の社会の変革から70年、日本の女性は力をつけて仕事、家族、地域と活動の場を広げてきました。女性活躍推進が期待される現在だからこそ、歴史に学ぶことが重要です。

パネル提供：埼玉県男女共同参画推進センター

パネル製作：ねりまジェンダー研究会

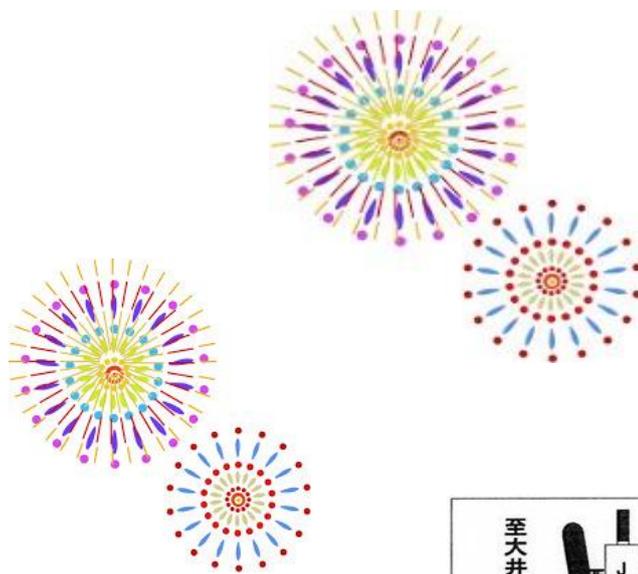


明治時代に入って、家制度にしばられて閉塞状況にいた日本の女性たちのなかから、社会の壁に立ち向かう動きが出てきました。平塚らいてうは雑誌「青鞥」で「元始女性は太陽だった」と宣言し、市川房枝は婦人参政権の獲得に力を尽くしました。

第二次世界大戦の敗戦後、権利の獲得だけではなく、社会の改良のために住民運動や様々な活動のために動く女性たちも現れました。働く女性の数も増加していきました。

私たちは日本の女性たちの歴史の節目に立ち会っているのです。

今回の展示は、平塚らいてう、市川房枝、広岡浅子についての資料も展示しました。



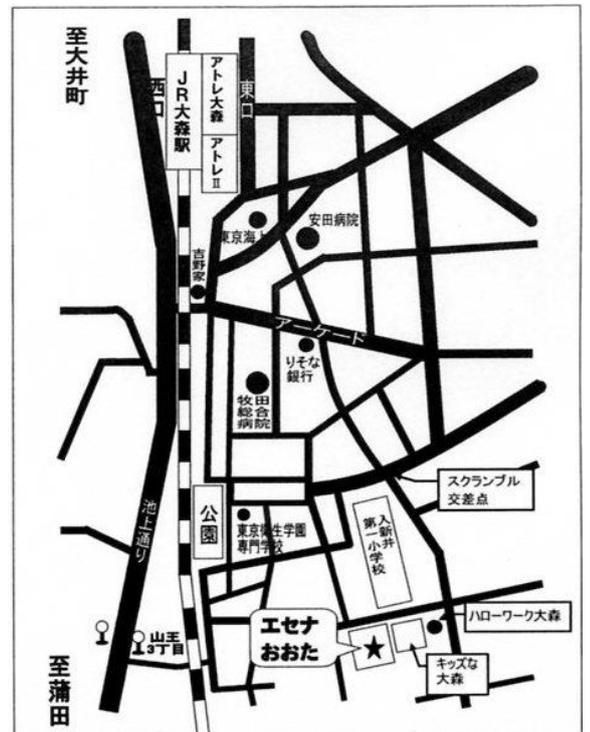
主催・問合せ先

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4
大田区立男女平等推進センター
「エセナおおた」(JR 大森駅から徒歩 8 分)

電話 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

E-Mail escena@escenaota.jp



JR京浜東北線 大森駅より徒歩 8 分
駐車場はありません。